

「令和7年度第2回 大野城市子ども・若者育成会議」(概要報告書)

第2回会議を開催しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

記

1 日 時 令和7年8月5日(火) 15時～16時半

2 場 所 すこやか交流プラザ2階 健康学習室1

3 参加者

(1)委員 吉塚委員、原委員、井上委員、齊藤委員、山内委員、重松委員、
橋口委員、井口委員、澁田委員、田口委員、池邊委員
(欠席 今本委員、原田委員)

(2)事務局 こども未来部／日野部長
こども・若者政策課／森永課長、安地係長、嶋田係長、室原、吉川、平、池田
子育て支援課／中川課長、小笠原係長、森
こども家庭センター／永野センター長、篠津係長、宮本係長
生活安全課／岡崎課長

(3)傍聴者 なし

4 内 容

(1) 開会

森永課長「会議の成立について」

委員13名中11名の出席により、大野城市子ども・若者育成会議設置条例第6条に定めている「委員の半数以上の出席」という会議の定足数を満たしており、会議が成立したことを報告。

(2)辞令交付

日野部長「委嘱状の交付」

推薦書と承諾書の提出により、選出された委員に委嘱状を交付
新しい副会長は井口委員に決定

日野部長「挨拶」

本日は、夢とみらいのこどもプランIV及び第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況などを報告させていただく。

委員の皆さまには、それぞれ専門的な分野での視点からご意見をいただきたい。
今後ともご支援、ご協力をお願いしたい。

(3) 議事

①各部会の報告と令和7年度の協議内容について 別紙1

(事務局説明)こども・若者政策課:森永課長、安地係長 生活安全課:岡崎課長

- ・子育て支援部会、こども育成部会、若者育成部会、青少年対策連携部会の令和6年度の活動を報告。
- ・夢とみらいのこどもプランⅣ進捗管理、第3期こども・子育て支援事業計画進捗管理、乳児等通園支援事業の実施、こども若者育成フォーラムの実施の4項目については、育成会議における審議事項とする。
- ・子育て支援ネットワーク会議の実施は子育て支援部会、大野ジョーくん生活がんばり月間の実施はこども育成部会、研修会の実施については青少年対策連携部会において、今年度も協議し、実施についての検討を行う。

②乳児等通園支援事業の認可に係る意見の聴取について 別紙2

(担当課説明)子育て支援課:中川課長

- ・本年4月の第1回会議において、大野城市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する認可基準を定める条例の制定について審議いただいたが、この度、実施予定の2施設より7月24日付で認可申請書が提出された。
- ・両施設とも、10月1日より事業開始を予定している。受入時間、定員、面積、職員配置、設備基準のすべてにおいて認可要件に適合していることを確認している。(施設の詳細は別添のとおり)

●意見・質疑

【原委員】

・認可基準にある職員とは、今回新しく増やした保育士なのか。また、保育は通常保育と同じ部屋で行われるのか。

→(子育て支援課)職員は、本事業の実施のために雇用している保育士。保育室は、通常保育とは別にし、使用していなかった部屋を活用することとしている。

【齊藤委員】

・子育て支援員は、資格を持っている人なのか。

→(子育て支援課)県が実施する研修等を受講し、資格を取得した者。

・保育士不足を危惧している。施設で働きながら保育士としての資格取得の勉強や実地教育ができるシステムをつくるなど、検討していただきたい。

→(子育て支援課)保育士確保に関する課題は認識しており、市として支援は必要である。意見を参考にしながら、引き続き施設のバックアップ等、行っていく。

③「夢とみらいのこどもプランⅣ」進捗状況について(報告) 別紙3

(事務局・担当課説明)こども・若者政策課:安地係長 こども家庭センター:永野課長
子育て支援課:中川課長 生活安全課:岡崎課長

- ・令和6年度のプランIV施策及び事業の進捗状況と活動指標について、新しい事業や担当が特に説明が必要と思うものを中心に、主な取り組み状況や今後の方針などを報告。

●意見・質疑

【齊藤委員】

- ・産後ケア事業(別紙3・P1)の満足度は目標値 100%に対し、令和 6 年度実績は 98.1%であり、その数字がどういうものなのか確認しているのか。他の各事業についても、満足いかなかった理由や、利用しなかった理由等の追加調査が必要なのではないか。

→(こども家庭センター)産後ケア事業は、満足度を指標にし、利用者へアンケート調査を行っている。その中で「大変満足した」という回答を多くいただくが、「予約が取りにくい」「利用料金の説明が不足している」などの声もあり、いただいた意見については随時、医療機関と連携し改善を図っている。

【原委員】

- ・赤ちゃん訪問事業や 4 か月健診、1 歳半健診、3 歳児健診での受診率に関しては、100%にならなかった理由を追跡するなど、気を付けておく必要がある。整理をしながら、事業を更に充実させてほしい。

【山内委員】

- ・近年は、青少年の夜間徘徊などが少ないこと、実施回数の多さや時間帯の理由から、パトロールのあり方について長期的な検討が必要であるとのことだが、パトロールという目的でいうと、こども対象だけでなく、道路や建物の異変や高齢者の徘徊等に気づくことができる大変意義深いものだと実際に参加して感じた。

→(生活安全課)防犯面の抑止力として巡回する意義は参加者にもご理解いただいている。今後、活動のあり方や誰が行うのかななどを整理しながら、検討を進めていく。

④「第2期子ども・子育て支援事業計画」進捗状況について(報告) 別紙4

(事務局・担当課説明)こども・若者政策課:室原 こども家庭センター:篠津係長

子育て支援課:中川課長 生活安全課:岡崎課長

- ・第2期子ども子育て支援事業計画の実施・進捗状況について説明。

⑤その他「総論」

【原委員】

- ・0 歳から 18 歳まで含めたこどもや若者たち全体の計画が実施されていることを素晴らしいと思う。特に子ども・子育て支援事業計画は、こどもの数が減少していく中でも、様々な取り組みや対応ができているので、今後さらに進捗していただきたい。

【吉塚委員】

- ・会議では、保育士の雇用に関する本市独自の取組が報告されるなど、担当者の努力がよ

く伝わる内容であった。地域に暮らす者として、周りをサポートし合うことの大切さを感じている。

・周辺にも日常的に不登校のお子さんや、家に引きこもっている青年がいる。子どもや若者が健全に育っていくには地域からの支援も必要で、今後も委員の皆さまと一緒に考えながら、市の取組みに関わっていきたい。

(4)閉会